

# 大手前市民会議通信

Vol.1

大手前地区の現状と  
事業に求めたいことを考える

発行所：佐伯市まちづくり推進課  
電話：0972-22-4623  
メール：cotamae@city.saiji.lg.jp

## 1 はじめに

佐伯市の課題解決のため、具体的な計画を市民と共に作り、市民と行政が一体となって「市民の想いをかたちに」することを目的として、市民会議を開催しました。

第 1 回の市民会議では、「大手前地区の現状と事業に求めたいことを考える」をテーマに、現地調査を行い、その後グループに分かれて検討を行いました。また、高校生部会も立ち上げ、同様の内容で今後の佐伯市を担う若者の意見を検討してもらいました。



## 2 当日のスケジュール

【高校生部会】 とき：10月27日 ところ：三余館

- 10:00 - 開会あいさつ
- 10:05 - 参加者自己紹介
- 10:10 - まちづくりの意義、活動内容確認
- 10:20 - 大手前地区等の特徴紹介
- 10:35 - グループ作業
- 11:15 - 大手前開発に求めたいこと発表会
- 11:25 - まとめ、閉会

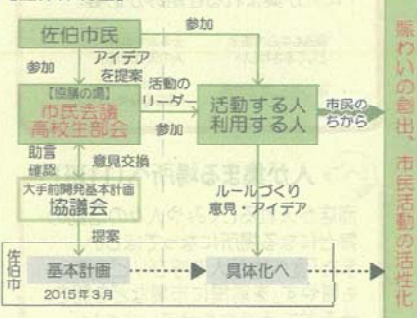
【市民会議】 とき：10月27日 ところ：佐伯小学校

- 13:00 - 開会あいさつ
- 13:05 - 現状とこれまでの経緯の整理
- 13:40 - アドバイザー・スタッフの紹介
- 14:00 - 現地調査
- 15:00 - グループ作業
- 15:45 - 大手前開発に求めたいこと発表会
- 16:15 - まとめ、閉会

## 3 市民会議の体制と全体の流れ

市民会議は今後継続的に開催いき、8回の会議を経て、最終的に大手前の基本計画を策定します。

### 【全体体制図】



### 【全体の流れ】

- 2013 10月 年度 現状と事業に求めたいことを考える
- 12月 市全体の問題を整理し大手前に必要なことを導く
- 1月 大手前地区に必要なアイデアを出し合い共有する
- 3月 まちづくり基本コンセプトを考える
- 2014 4月 年度 市民シンポジウム（中間報告会）
- 6月 具体的な将来イメージを考える
- 8月 デザインについて考える
- 10月 基本計画案を実現させる道筋を考える
- 12月 基本計画案の確認
- 3月 市民シンポジウム（最終報告会）

## 4 市民会議・高校生部会の様子

市民会議では50名、高校生部会では14名の方々に集まっていただき、現地調査の後にグループ作業で大手前地区の良いところ、悪いところ、事業に求めたいことを考えていただきました。



01. 高校生部会



02. 大手前の過去の様子を説明



03. グループ作業



05. コーディネーターの紹介  
福岡大学 柴田久佳教授

高校生部会の後、  
市民会議を行いました。



04. グループ作業の結果を発表



06. これまでの経緯の整理



07. 現地調査



08. 現地調査を踏まえて議論



11. グループ作業の結果発表



10. 高校生もお手伝い



09. どんどん地図が埋まります



12. ポイントを1つに絞り発表



13. まちづくりの専門家のコメント

12 グループで議論した内容を次頁にまとめます。  
この内容を踏まえ、佐伯市の活性化のために議論を深めていきます。



第1回市民会議・高校生部会  
大手前地区の現状と事業に求めたいことを考える

**意見まとめ**

**みんなに優しいまち(5班)**

「みんなに優しい」はハード整備のバリアフリーに止まらず、ソフト面(心、おもてなし、人とのつながりなど)にも広がり暮らしやすさや賑わい創出にも通じるため優しさが必要。

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| いろいろな人が集まる      | 信号の待ち時間に音がなるのがいい |
| バリアフリーが整備されていない | 城山や湧き湯などが利用しにくい  |

**誇りあるまちづくり(3班)**

誇りあるまち、自信をもったまちづくりが必要。そうしたまちを次々に引き継ぎたい。

- |                   |          |
|-------------------|----------|
| 自然を生かした誇りあるまちづくりを | 城山の自然がよい |
| 佐伯のいいところを伸ばすべき    | 川がすこくキレイ |

**「人が集まり、若者が帰りたくなる」を夢の着地点に(2班)**

みんなが行きたくなる、人が集まる、若者が帰りたくなる、そういうまちづくりを夢としよう。

- |            |            |
|------------|------------|
| 帰ってきたくなる場所 | 目的を明確に持つべき |
| ワクワク感を持つ   | 行きたくなる場所へ  |

**歴史の通りは重要(10班)**

残したいものは景観やそれにまつわる歴史であり、そうした魅力に人が集まってくるので船頭町周辺の景観を見習う。

- |             |        |
|-------------|--------|
| 歴史的景観が残っている | 風情がある  |
| 歴史の通り       | 可能性がある |

**船頭町の街なみが大切(8班)**

落ち着いた雰囲気、魅力的な古い建物、統一デザインを大切にしたい。

- |              |                   |
|--------------|-------------------|
| 落ち着いた雰囲気     | デザインの統一           |
| 昔からある店がすばらしい | 魅力的な古い町並みを利用できないか |

**大手前だけの魅力が必要(高校生A班)**

大手前地区には目的を持って訪れる場所が無いため、大手前だけの魅力をつくり出し大手前を利用するきっかけにしたい。

- |             |                  |
|-------------|------------------|
| 大手前だけの魅力が必要 | 目的を持って来る場所が無い    |
| 若者に魅力的な店が無い | 大手前を利用するもの、理由が無い |

**城下町のまちづくりを(7班)**

もともと佐伯は城山ふもとの城下町であったため、歴史ある建物が残っておりこれを生かしたまちづくりが必要。

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 昔の建物や道が残っている | 城下町のまちづくり    |
| 建物が古くて歴史がある  | 鐘の手型の道路は残すべき |

**櫓門をシンボルとした歴史による人を集めるまちづくり(12班)**

城山は市のシンボルとして、市民の誇りとして、強い思いがある、これを中心に何らかの手法で人を集める仕掛けが必要である。

- |                |         |
|----------------|---------|
| 歴史と文学の道は景色がきれい | 城山からの眺め |
|----------------|---------|

**歩いて楽しいまちを目指す(6班)**

歩いて楽しい町には広場、緑の公園、開けた店づくり、活気、高校生も行ける店などが必要であるとまとまった。

- |            |                |
|------------|----------------|
| 歩いて楽しめる町   | 仲町商店街が今のままでほしい |
| 高校生が行けるお店を | オープンテラスがほしい    |

**まわりとの関係考えた憩いの場を(9班)**

仲町商店街、船頭町、山際通りを歩いた人が周辺地区の中心である大手前で休めるようにしたい。

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 城山に似合うものがほしい    | 憩いの場がほしい |
| 大手前と周りの地区の関係が重要 |          |

**大手前に拠点を作る(1班)**

人が集まる小さな「場」点状にしている大手前地区こそ、人が集う「拠点」にすべき。

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 人が集まる場がほしい  | コミュニティスペースが無い |
| 歴史的に町の中心である |               |

**大手前を中心とした人の流れができていない(4班)**

佐伯市の中心であり、また将来もそのままであり続けられる大手前に人が集まれる仕組みが必要。

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| 将来も中心市街地としてふさわしい | 大手前を中心とした人の流れが無い |
| 中心地としての立地        | 大手前は「まちの発信」の場所   |

**若者も集まれるたまり場を(高校生B班)**

大手前は親世代の場所というイメージがあり、若者には近寄りたがいがたい。しかし大手前には美味しい食べ物が多くあり自分たちも利用したい。そこで若者も集まれるたまり場がほしいと考えた。

- |          |              |
|----------|--------------|
| 食べ物が美味しい | 休憩できるところがほしい |
| 親世代の場所   | 遊べるところがない    |

**娯楽がほしい!(高校生C班)**

大手前周辺は暇を潰せる場所が無い、また大手前全体として若者が利用しにくい雰囲気があるためこの開発を機会に若者にとっても魅力ある町になってほしい。

- |             |               |
|-------------|---------------|
| 運動する場所が無い   | 駅前のボーリング場が潰れた |
| 時間が潰せる場所が無い | ラウンドワンがほしい    |

**人が集まる場所へ(11班)**

商店が入れるしくみや人々の活動の舞台になる場所になってほしい、また「食べ物が人を呼びリピーターも増やす」を前提に市場などを開き、大手前を活性化させていきたい。

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 人々の活躍の舞台になる場所がほしい | 食べ物が人を呼びリピーターを増やす |
|-------------------|-------------------|





## 第2回市民会議の概要

第2回の市民会議では、「佐伯市全体の課題を整理し、大手前に必要なことを導く」をテーマに、グループに分かれて検討を行いました。

まず、コーディネーターの福岡大学柴田准教授の司会により、第1回市民会議の意見のふりかえりを行い、前回、各グループで話し合い発表した意見を参加者全員で確認しました。そして、それらの意見から抽出された12個のキーワードについて説明がありました。

次に12個のキーワードを補足するための情報提供として、人口動態や各種資源の分布、公共交通の状態などの佐伯市全体の現状について、市役所の職員より説明があり、コーディネーターの柴田准教授により確認がなされました。

その後、各グループでテーマについてキーワードに基づいて議論し、会議の最後にはまとめた意見をグループ毎に発表してもらいました。

これらと同様の内容を高校生部会でも実施しました。



## 2 当日のスケジュール

- 【市民会議】 とき：12月20日 ところ：三余館
- 19:00 - 開会あいさつ
  - 19:05 - 第1回市民会議の意見共有
  - 19:20 - 佐伯市全体の現状について説明
  - 19:40 - グループ作業
  - 20:30 - 大手前に必要なこと発表会
  - 20:55 - まとめ、閉会

- 【高校生部会】 とき：12月21日 ところ：三余館
- 13:00 - 開会あいさつ
  - 13:05 - 第1回高校生部会の意見共有
  - 13:20 - 佐伯市全体の現状について説明
  - 13:40 - グループ作業
  - 14:30 - 大手前に必要なこと発表会
  - 14:55 - まとめ、閉会

## 1 全体の流れ

- 【全体の流れ】
- 2013年度
- 10月 現状と事業に求めたいことを考える
  - 12月 **市全体の課題を整理し大手前に必要なことを導く**
  - 2月 大手前地区に必要なアイデアを出し合い共有する
  - 3月 まちづくり基本コンセプトを考える
- 2014年度
- 4月 市民シンポジウム（中間報告会）
  - 6月 具体的な将来イメージを考える
  - 8月 デザインについて考える
  - 10月 基本計画案を実現させる道筋を考える
  - 12月 基本計画案の確認
  - 3月 市民シンポジウム（最終報告会）

第2回のテーマ

## 4 ケーブルTVインタビュー



### ■市民の声

Q 大手前の計画についてどう思う？

A1 市民が中心になって頑張っているの、とても良いことだと思う。

A2 市民の意見を聞くという意味ではすごく良い試みだと思う。

Q どんな意見がいいか？

A3 地域にとって役立つ意見がいい。

Q 佐伯がどんな風になればいいと思う？

A4 人がたくさん来て、商売が繁盛するような町になればいい。

Q (今回の市民会議) どんな意見を？

A5 山・海・町をいかに結んでいけるか、どうすればいいか。

A6 子どもを中心とした町づくり。老人と共に使えるリースペースを作る。

Q 今回の感想は？

A7 いろんな意見があって面白かった。無理がある意見もあったが、夢を持ってやるということについては素晴らしいと思う。

A8 問題点をどうするかはなかなか難しく、賑わいというのを内に求めるか外に求めるか区切りがなかった。みんなで考えて作って行くということが次に繋がるので、次回までに自分の生活を見つめながら、どうあるべきか考えないといけない。



### ■柴田先生へのインタビュー

Q 会議で1番重要なことは？

A1 1つは佐伯らしさを考えること。2つ目は実現可能な計画を立てること。

Q 高校生部会と市民部会に期待していることは？

A 高校生、市民が結束力と持久力を持ってみんな一緒に頑張っていってほしい。

### ■佐野先生へのインタビュー

Q 高校生に期待することは？

A 高校生らしい若い目線で見た話を聞きたい。歩きや自転車の速度で見える町の特徴を覚えてもらって町に何が新しい提案をしてほしい。

Q 参加している高校生の印象は？

A 佐伯の高校生はすごい。今すぐにでも具体的な案に繋がる提案をしてくれるし、大人もびっくりするような、なるほどと思えるような発言がありました。



## 3 コーディネーターの紹介



福岡大学 工学部 社会デザイン工学科

柴田 久(しばた ひさし) 准教授

取得学位：博士(工学) 東京工業大学

専門分野：景観デザイン・まちづくり

地域・社会活動：刈馬中蔵原地区横町線再整備計画アドバイザー (H24.7~)

福岡市「警固公園再整備計画」(H23.11~)

大分県津久見市「湧水めだか公園」設計・監理 (H20.12~H22.3) など

研究業績：風景のとらえ方・つくり方—九州実践編 (H20)

土木と景観—風景のためのデザインとマネジメント (H19)

環境と都市のデザイン—表層を超える試み・参加と景観の交点から (H16) など



大分大学 工学部 福祉環境工学科

姫野 由香(ひめの ゆか) 助教

取得学位：博士(工学) 大分大学

専門分野：建築・都市計画、景観工学・計画、中心市街地活性化

地域・社会活動：大分市にぎわいづくり実証実験実施協議会副委員長 (H25)

別府市湯けむり景観整備計画等検討委員会委員 (H24~)

大分県鉄道残存敷利活用検討協議会委員 (H24~H25)

臼杵市歴史的町並みの保全・形成に関する調査研究委員会委員 (H22) など

研究業績：景観まちづくり活動の持続可能性とその要因分析 (H25~H28)

地域資源を活かした市民活動とまちづくり (H23) など



佐伯市全体の課題を整理し、大手前に必要なことを導く

## 意見まとめ

### 商いの中心から、別の機能の拠点になるべき (1班)

交通手段の変化による商いの拠点の変化など、地域の変遷に対応した拠点となることを目指すべき。

### 賑わい創出の源のトライアングル(2班)

大手前を中心に点在する徒歩移動圏に着目。今後増加する高齢者が集える場所づくりが、若者のビジネスチャンスにつながる。

### 意外に小さい!!(3班)

市有地は意外と狭く、歪な形状のため、土地区画の整理が必要であり、いろんな施設を集約することは難しいのでは?

### 他と競争しても仕方ない(4班)

大手前独自の魅力を活かした拠点をつくり、人の集まりや賑わいを生み、新たな人の流れを創ることに、周辺を含む地域が活性化する仕組みとすることが重要。

### いろんな人が目的を持ってこられる(5班)

公共交通機関の充実や、バリアフリーの視点でのまちづくり。アイデア次第でお金をかけずにイベントを開催することも可能。おしゃれ感が大切。

## 市民会議



### 人から関心を持たれる拠点(6班)

有名飲食店・高齢者の介護予防施設・保育園などの各年代が集まれる場所がほしい。これにより新たな雇用も生まれる。

### 複合的施策による既存ストックの利活用(7班)

皆が利用でき訪れる、人が人を呼ぶ好循環のスイッチとなることにより、周辺の空き店舗などの利活用を促進し、まちは賑わう。

### 日常的な賑わいづくりの工夫(8班)

できることを少しずつ、お金をかけずに出店できる環境づくりで人は集まる。

### 人を集めるには食が必要(9班)

佐伯の魅力である食を楽しめるようにすれば、他施設との差別化がはかられ、観光客も集まる。

### 魅力ある憩い過ごせる(高校生A班)

若者が、気軽に立ち寄れて、風雨をしのげ、勉強ができ、軽く食べることができれば、人の流れができる。

### みんながチャレンジする(高校生B班)

習い事や社会体験ができる場があれば人が集まる。何かにチャレンジできる場所は、魅力がある。

## 高校生部会



### 市民や観光客が滞留(高校生C班)

観光客も呼び込む施設ができれば、通過地点でなく滞留ができ、自転車を利用する高校生も他所に行かずに利用する。周辺の歩道整備により、高齢者も足を運びやすくなる。

### 当たり前のように集える(12班)

世代や生活環境により、求める姿は異なるため、これを大きな課題として導入機能を考える必要がある。

### 明確な目標をつくる(11班)

機能やターゲットを広げ過ぎず、少し広いエリアを対象に大手前の明確な目標をつくる。

### 周辺地域とのつながり(10班)

持続的な活気のある将来のため、「大手前がどのように周辺地域とつながりを持つと良いか」を考えることが必要。



## 第3回市民会議の概要

第3回の市民会議では、「大手前とその周辺のアイデアを出し合い必要な機能を考える」をテーマに、グループに分かれて検討を行いました。

開会の前に、佐伯小学校で行っているまちづくりワークショップでの結果として、小学生が考える大手前の将来像を発表してもらいました。小学生が考えた成果は会場の前に全て掲示し、来場者に見ていただいています。

会議では、これまでの意見の整理と提案について本事業のアドバイザーとして招聘している西村浩氏から説明がありました。

その後、各グループで今回提案のあった事項を軸に議論し、会議の最後にまとめた意見をグループ毎に発表してもらいました。

これらと同様の内容を高校生部会でも実施しました。

市民会議全体の様子



小学生による発表



グループ作業



グループ作業



高校生部会の様子



## 2 当日のスケジュール

【市民会議】とき：2月10日 ところ：和楽

- 18:30 - 小学生発表会
- 19:00 開会あいさつ
- 19:05 - 第2回市民会議の意見共有
- 19:15 - これまでの意見の整理と提案
- 19:40 - グループ作業
- 20:40 - 意見発表会
- 21:30 - まとめ、閉会

【高校生部会】とき：2月11日 ところ：三余館

- 13:00 - 開会あいさつ
- 13:05 - 第2回高校生部会の意見共有
- 13:20 - これまでの意見の整理と提案
- 13:40 - グループ作業
- 14:30 - 意見発表会
- 14:55 - まとめ、閉会

## 3 全体の流れ

【全体の流れ】

- 2013年度
  - 10月 現状と事業に求めたいことを考える
  - 12月 市全体の問題を整理し大手前に必要なことを導く
  - 2月 **大手前とその周辺のアイデアを出し合い必要な機能を考える**
- 2014年度
  - 4月 まちづくり基本コンセプトを考える **第3回のテーマ**
  - 5月 市民シンポジウム（中間報告会）
  - 6月 具体的な将来イメージを考える
  - 8月 デザインについて考える
  - 10月 基本計画案を実現させる道筋を考える
  - 12月 基本計画案の確認
  - 3月 市民シンポジウム（最終報告会）

## 4 アドバイザーの紹介



ナグモデザイン事務所 代表 デザイナー  
南雲 勝志（なぐも かつし）  
新潟県南魚沼市（旧六日町）生まれ 東京造形大学 室内建築科卒業

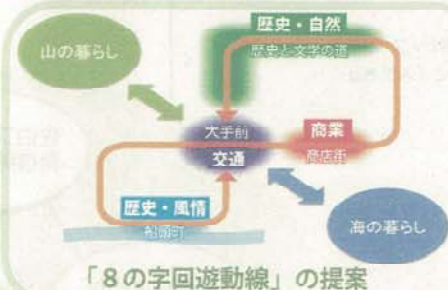
日本全国スキタラク倶楽部代表、グッドデザイン賞 審査委員、平泉町景観デザイン会議 委員、八王子市景観まちづくりアドバイザー  
景観、環境におけるプロダクトデザイン、照明デザイン、まちづくり関連デザインに取り組む。  
【仕事歴】宮城県日南市中心市街地、新潟市萬代橋改修、高知駅前広場、東京都行幸通り、旧佐渡航山群跡地広場、姫路駅前広場、大手前通り、出雲市神門通り、秋田駅西口バスターミナルなど。  
【主な受賞歴】グッドデザイン賞金賞・日本商工会議所会頭賞・地域づくりデザイン賞、土木学会景観デザイン賞 最優秀賞 他。



株式会社ワークヴィジョンズ 代表 一級建築士  
西村 浩（にしむら ひろし）  
佐賀県佐賀市生まれ 東京大学大学院工学系研究科修士過程修了

北海道教育大学芸術課程 特任教授、日本大学理工学部社会交通工学科 非常勤講師  
建築・土木・まちづくり等、常に「まち」を視野にいれ、分野を超えてモノづくりに取り組む。  
【仕事歴】大分県南北軸構想、佐賀市街なか再生計画、函館市中心市街地トータルデザイン、岩見沢複合駅舎、長崎水辺の森公園（橋梁群担当）、鳥羽海辺のプロムナードなど。  
【主な受賞歴】日本建築学会賞、土木学会デザイン賞、グッドデザイン賞大賞、BCS賞、プルネル賞、アルカシア建築賞 他。

## 5 8の字回遊動線の提案・意見



「8の字回遊動線」の提案

### 【歴史と文学の道に関する意見】

- 歴史の道は御所明神までなど、大手前周辺のまち以外にも伸ばす
- 城山が荒れてしまっている
- 車が通らなければもっと安全に歩行者が歩き回れる
- 案内ガイドをしたい
- 観光ガイドがいる場所がない

### 【商店街の魅力に関する意見】

- 今は通過点になっている
- 雨風がしのげる、通り沿いに屋根がある
- 自転車置き場が必要
- 回遊が促進されれば「ついで買い」も多くなる
- 対面販売による会話やふれあいは魅力的
- 見て楽しい店づくり
- 若者が集まりやすい店舗が必要

### 【商店街のイメージに関する意見】

- うすい暗い、タイルが冷たい、夜に来ると怖い
- 商店街のイメージを明るく
- 木で作れば明るい

### 【船町に関する意見】

- レトロな雰囲気がかまち歩きにもってこい
- 番匠川の魅力を活かす
- 老舗を活かした方がいい（最近とはとても元気）
- 昔の船着き場の観光化再利用により人の流れをつくる
- 広い道路は不要、車は似合わない
- 一方通行で問題ない
- 南から大手前へのアクセス交差点が危ない

### 【交通に関する意見】

- 歩いて楽しむための交通手段の充実（コミュニティバスなど）
- 信号や一方通行など、交通の整理が必要
- 車でも来やすくなるために駐車場などの配慮

### 【歩きやすさに関する意見】

- 住む人の動きからルートを考えてみる
- 500mを苦にさせないまちづくりが必要
- 安全で歩きやすい散歩道の整備が必要
- 年齢層に合わせた距離の散策ルート設定
- 駐車場は周辺につくり、回遊ルートを通して大手前へ行く
- それぞれのエリアや施設を紹介する案内看板やマップを配置
- 歴史と文学の道から仲町に人の流れをつくるのは難しそう

### 【まちの魅力に関する意見】

- 医療機関・スーパー・バスターミナルを核に賑わいのできている
- シンボルが必要（例えば大手門やお城の復元）
- 周辺には人が流れる十分なポテンシャルがある



大手前とその周辺のアイデアを出し合い、必要な機能を考える

グループワーク意見まとめ

「求められること」「具体的な機能」について

| 暇な時に気楽に集まる場所  | 多様な世代が集まる場所   | 佐伯ブランドの発信拠点   | 暮らしを支える場所  | まちのストックを生かす役割  |
|---|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>おしゃれなカフェ</li> <li>「城山との連続性」を感じるカフェ</li> <li>人気カフェのような人が寄る店</li> <li>高校生カフェ</li> <li>軽食スペース</li> <li>お茶が飲める場所</li> <li>軽食が提供され、フラットに入れるお店</li> <li>立ち飲みがイイ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>緑(芝生)も必要</li> <li>緑の広場</li> <li>きれいな庭が眺められる場所</li> <li>憩い・癒しの施設(広場、ベンチ、池、せせらぎ、自然学習)</li> <li>四季を感じられる場所</li> <li>空も見える屋根付きの広場</li> <li>子どもから高齢者まで集まれる広場</li> <li>子どもが雨の日に遊べる空間</li> <li>遊具と一体化したサンルーフ付き公園</li> <li>市民スポーツを楽しめる「健康と交流」の公園</li> <li>ドッグラン・軽スポーツができる広場</li> <li>広場を利用したイベント開催</li> <li>オープンな施設</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>ちょっとしたお買い物は必要</li> <li>団体がお店を出せるブース(災害施設も兼ね備える)</li> <li>チャレンジショップ</li> <li>軽トラ朝市(高齢者の日常生活の支え)</li> <li>働く場所</li> <li>商業テナントスペースは難しいだろう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしを支える場所</li> <li>バスターミナル機能・駐車場機能は必要</li> <li>コミュニティバスの発着場</li> <li>人が集まるようになってから商業も行える場にする</li> <li>個人と競合するため商業機能はいらない</li> <li>何かを体験できる場所</li> <li>結婚式やコンサートができるような機能</li> <li>病院・福祉を兼ね備えた施設</li> <li>高齢者向け集会所や高齢者向けコンビニ</li> <li>介護予防施設</li> <li>子育て機能</li> <li>学校帰りの子どもの受け皿</li> <li>保育所施設</li> <li>保育園</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちのストックを生かす役割</li> <li>佐伯のいいもの・おいしいものを集め提供</li> <li>既存駐車場を活かす</li> <li>バスターミナルを設置して人の流れをつくる拠点に</li> </ul>                               |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ものづくりを通じた多世代交流施設</li> <li>趣味を堪能できる場所・同じ趣味・スタイル・活動の人と出会う場所</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学習塾があってもよいのでは</li> <li>学校帰りに立ち寄りやすい学習室</li> <li>学べる場</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>貸し出しキッチン</li> <li>高齢者のお楽しみ&amp;出会いスペース・場所</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>病院・福祉を兼ね備えた施設</li> <li>高齢者向け集会所や高齢者向けコンビニ</li> <li>介護予防施設</li> <li>子育て機能</li> <li>学校帰りの子どもの受け皿</li> <li>保育所施設</li> <li>保育園</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>バスターミナル機能・駐車場機能は必要</li> <li>コミュニティバスの発着場</li> <li>人が集まるために駐車場とバスターミナルが必要</li> <li>既存駐車場を活かす</li> <li>バスターミナルを設置して人の流れをつくる拠点に</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>今までのイメージと違う図書館</li> <li>気軽に立ち読みできる</li> <li>雑誌などが読める読書スペース</li> <li>お茶が飲めて本も読める</li> <li>中高生が集まって勉強できる</li> <li>おしゃべりしながら勉強できる場</li> </ul>                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>フリースペース+本とかコミュニティ形成の場</li> <li>マンガや雑誌も読める</li> <li>雑誌や児童書だけの本棚とソファがある</li> <li>本を置いていてテーブルとイスがある</li> <li>おしゃべりもできる所</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>学べる場</li> <li>学べる場</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>病院・福祉を兼ね備えた施設</li> <li>高齢者向け集会所や高齢者向けコンビニ</li> <li>介護予防施設</li> <li>子育て機能</li> <li>学校帰りの子どもの受け皿</li> <li>保育所施設</li> <li>保育園</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちのストックを生かす役割</li> <li>バスターミナルを設置して人の流れをつくる拠点に</li> </ul>   |

利用のイメージ

- 暇なときにふらっと寄れる場
- 日常からのスタート(市民対象の場)
- みんなの故郷
- 友達に会える、交流できて元気になれる場所
- 友達や恋人に声をかけて来なくなる場所
- ドキドキ・ワクワクさせるハレの場所
- お金を使わず長時間過ごせる場所
- 長い時間滞在することができる場所
- バスの時間を待てる

整備のイメージ

- 身の丈に合った施設を
- 安価で整備が可能なスペース活用
- 必要なものを兼ね備えたハコモノは作るべき
- 大きなハコモノは必要ない
- いきなり建物ではなく仮設でやってみる
- 文化会館のホール機能を持つてくればよい
- 機能面での文化会館建て替えは必要
- 文化会館の建て替えも必要
- 生の文化に触れられる映画館や図書館や文化ホール

多様な世代が  
集まる場所

佐伯ブランドの  
発信拠点

まちのストックを  
生かす役割

暮らしを支える  
場所

暇な時に気楽に  
集まる場所

「大手前に求められること」  
の提案

- コミュニティセンターの建設
- 屋内・屋外施設が複合するワンランク上の施設
- 建物と屋外の複合施設
- しつかりした建物が必要
- 建物にはこだわらない

- 「建物」ではなく「場所」をつくりたい
- 建物より人・市民目線を大切にする
- 機能を固定化しない
- 多機能な空間
- 多様な世代が集まる「広場+魅力」ある施設

- 待ち合わせ場所になる場(ランドマーク)
- どこかへ行ったときに寄り道として立ち寄る
- 何でも持ち込める場所
- 雨の日にサッと行ける
- 孫と一緒に立ち寄れる
- 子どもや若者が集まりやすいところ
- 年齢に関係なく利用できる
- 子どもと高齢者の両方にスポットを当てるべき
- 利用する上でのルールづくり

- 広い自由な空間
- 自由に使える(文化的・商業的活動)スペース
- 共有できるフリースペース
- 周囲中がから見えて安心な施設
- 活動が外から見えて入りやすく
- 施設の統一感を持たせて魅力的に
- 清潔感がある場所
- 靴を脱いで上がれる場
- 様々な機能を複合させることで活性化につながる
- 公共空間の中にカフェや本屋がある



### 1 第4回市民会議・高校生部会の概要

第4回の市民会議は「大手前地区の基本コンセプト提案と必要なモノを考える」をテーマに、高校生部会との合同で開催しました。

合同会議の前には、お昼から大手前でみんなが持ち寄った食材で作った鍋を食べながら佐伯市や大手前の将来について語り合う「**風なべ談義**」を開催しました。その様子は右欄をご覧ください。

会議では、全体コーディネーターの柴田先生からこれまでの市民会議で出た意見を踏まえた5つの基本コンセプトの提案があり、参加者は拍手で承認しました。

その後、承認した基本コンセプトをもとに、大手前に必要なモノについて活発な議論を行いました。



### 2 当日のスケジュール

とき：4月12日 ところ：三余館

9:00 - 風なべ談義

【市民会議・高校生部会(合同)】

16:00 - 開会あいさつ

16:05 - 大手前開発基本計画の  
具体イメージ(ゴール)を共有

16:15 - 大手前開発基本コンセプト提案

16:35 - 基本コンセプトの達成に  
必要なモノを選ぶ

17:25 - 発表会

17:55 - まとめ、閉会あいさつ

### 3 全体の流れ

【全体の流れ】

2013年度

10月 現状と事業に求めたいことを考える

12月 市全体の問題を整理し大手前に必要なことを導く

2月 大手前とその周辺のアイデアを出し合い必要な機能を考える

2014年度

4月 **大手前地区のまちづくり基本コンセプト提案と  
必要なモノを考える** 第4回の  
テーマ

5月 中間報告会

6月 具体的な将来イメージを考える

8月 デザインについて考える

10月 基本計画案を実現させる道筋を考える

12月 基本計画案の確認

3月 市民シンポジウム(最終報告会)

### 4 基本コンセプト

これまでの市民会議での意見を踏まえ、大手前基本計画案の5つの基本コンセプトを決定しました。

#### I. いつでも気楽に集まれる憩いの場所

普段の生活の中で、佐伯市民が日常的に「ふらっと」立ち寄り、お金を使わずとも長時間過ごせる場所にする

#### II. 多様な世代が集まれる場所

子どもから大人まで年齢に関係なく利用でき、利用する人達の様々な使い方に合わせられる場所にする

#### III. 佐伯ブランドの発信拠点

佐伯独自の食や「ものづくり」などを学ぶことができ、多くの人々に佐伯の良さを知ってもらえる拠点にする

#### IV. 暮らしを支える場所

子育てや教育・文化活動を支援し、高齢者向けの福祉など佐伯市民の生活をより良くする場所にする

#### V. まちのストックを生かす場所

城山や船頭町、既存商店街など、周囲にある佐伯の資源やストックを生かし、それらを回遊させて繋げる拠点にする

### 5 風なべ談義









市民の想いをかたちに...

# 大手前市民会議通信

Vol.5 これまでのまとめ

佐伯 再起動

平成26年 7月 1日発行

発行所：佐伯市まちづくり推進課  
電話：0972-22-4623  
メール：ootemae@city.saiji.lg.jp

## 1 市民が新しい大手前の計画を作っています

佐伯市は中心市街地を元気にしてより住み良い街にするために大手前開発基本計画を作ります。計画にできるだけ市民の意見を取り入れ「市民の想いをかたちに」するために、大手前開発基本計画市民会議を立ち上げました。また、高校生も大手前開発基本計画高校生部会に参加しています。

市民会議と高校生部会はこれまでに4回開催され、様々な意見を交わしながら計画の基本コンセプトを決めました。今後は基本コンセプトをもとに更に話し合いを重ね、基本計画案を作ります。



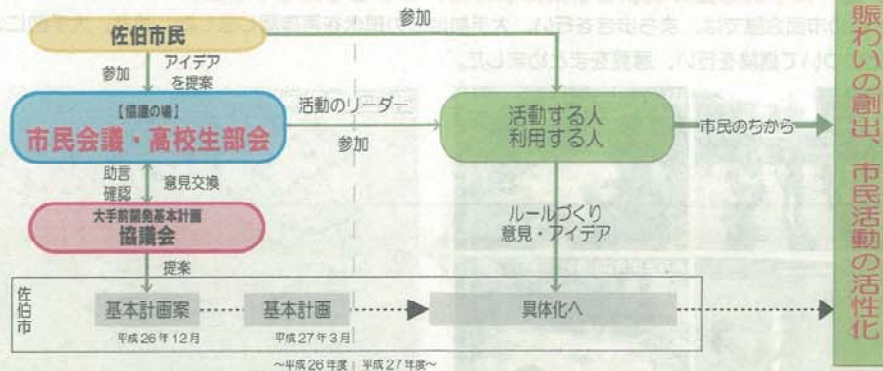
## 2 全体の流れ

第1回から第4回では現状や課題の整理をしたほか、まちづくりのアイデアを出し合いながら、基本コンセプトを決めました。第5回以降は基本コンセプトをもとに中身や規模、配置等について話し合い、12月に基本計画案を作り上げます。

|                   | 平成25年度                    |                             | 平成26年度                      |                         |       |                   |               |                        |                    |                 |         |  |
|-------------------|---------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------|-------|-------------------|---------------|------------------------|--------------------|-----------------|---------|--|
|                   | 10月27日<br>(10月27日)<br>第1回 | 12月20日<br>(12月21日)<br>第2回   | 2月19日<br>(2月19日)<br>第3回     | 4月12日<br>(4月12日)<br>第4回 | 5月15日 | 6月23日<br>第5回      | 8月<br>第6回     | 10月<br>第7回             | 12月<br>第8回         | 3月              |         |  |
| <b>市民会議・高校生部会</b> | 大手前地区の現状と事業に求めたいことを考える    | 佐伯市全体の課題を整理し、大手前地区に必要なことを導く | 大手前とその周辺のアイデアを話し合い必要な機能を考える | 基本コンセプト決定               | 中間報告会 | 大手前地区の中身と施設規模を考える | 大手前の配置について考える | 大手前開発基本計画案を実現させる道筋を考える | 大手前開発基本計画案の確認      | 市民シンポジウム(最終報告会) | 基本計画案完成 |  |
| <b>大手前協議会</b>     | 協議会設立<br>市民会議の役割          | シンポジウムの検討<br>広報戦略の検討        | 中間報告会の内容<br>基本コンセプト案の提案等    |                         |       | 今後の市民会議の検討        | 規模・配置の検討      | 資金計画の検討<br>手法の検討       | 管理運営の検討<br>デザインの検討 | 基本計画案の確認        |         |  |

## 3 体制図

【全体体制図】 大手前開発基本計画を策定するための全体の体制・流れは以下のとおりです。



市民会議・高校生部会では立場も仕事も年齢も様々な市民が実現可能な具体的な計画を作るために議論をしています。



### ■市民会議

中報で募集した結果、20代～80代の76名の市民が集まってくれました。市に提案する基本計画案を作るため、毎回アイデアを持ち寄って自由な意見交換をしています。

### ■高校生部会

市内4校の生徒16名が集まり、高校生の視点からまちづくりに取り組んでいます。

### ■協議会

専門的見地から市民会議や高校生部会の意見について助言や確認をします。市民会議・高校生部会でのアイデアを基本計画案を策定、市に提案します。

【協議会委員の紹介】 専門的見地から市民会議意見への助言等を行う有識者の組織です。

| 氏名     | 主な所属                         | 備考     |
|--------|------------------------------|--------|
| 富高 国子  | つるおか子どもの家代表                  | 協議会会長  |
| 柴田 久   | 福岡大学 工学部 社会デザイン工学科 教授        | 協議会副会長 |
| 姫野 由香  | 大分大学 工学部 福祉環境工学科 助教          |        |
| 二宮 仁志  | 大分県佐伯土木事務所 河津砂防堤 砂防班 副主任(総括) |        |
| 御手洗 古徳 | 大分信用金庫 常勤理事 新屋敷支店長           |        |
| 宮明 邦天  | 佐伯市商店街連合会長                   |        |
| 井上 一則  | 公益社団法人 大分県建築士会佐伯支部長          |        |
| 近藤 愛子  | 佐伯市教育委員                      |        |
| 田中 真二  | 佐伯市企画商工観光部長                  |        |

【市民会議・高校生部会コーディネーター(進行・調整役)の紹介】



福岡大学 工学部 社会デザイン工学科  
柴田 久(しばた ひさし) 教授  
専門分野：景観デザイン・まちづくり  
地域・社会活動：対馬市厳原地区横町線再整備計画アドバイザー(H24.7～)  
福岡市「警固公園再整備計画」(H23.11～)  
大分県津久見市「湧水めだか公園」設計・監理(H20.12～H22.3) など



大分大学 工学部 福祉環境工学科  
姫野 由香(ひめの ゆか) 助教  
専門分野：建築・都市計画、景観工学・計画、中心市街地活性化  
地域・社会活動：大分市にざわいづくり実践実験実施協議会副委員長(H25)  
別府市湯けむり景観整備計画等検討委員会委員(H24～)  
臼杵市歴史的町並みの保全・形成に関する調査研究委員会委員(H22) など

お問い合わせ先

大手前開発基本計画協議会事務局(佐伯市まちづくり推進課)  
電話：0972-22-4623 メール：ootemae@city.saiji.lg.jp

情報

市民会議フェイスブック公開中 **市民の想いをかたちに** で検索  
ホームページも開設しました <http://otemaeshiminkaigi.info/>

協議会、市民会議、高校生部会とはなても傍聴できますので、興味のある方は会場にお越しください。



第1回から第4回市民会議・高校生部会の概要と中間報告会

第1回 大手前地区の現状と事業に求めたいことを考える (10/27)

第1回の市民会議では、まち歩きを行い、大手前地区の現状を再確認しました。また、大手前に求めることについて議論を行い、意見をまとめました。



第2回 佐伯市全体の課題を整理し大手前に必要なことを導く (10/20, 21)

第2回の市民会議では、佐伯市の現状に関する情報提供として、人口動態や各種資源の分布などの説明の後、佐伯市全体という広い目線から、課題を整理し、大手前に必要なことを導き出しました。



第3回 大手前とその周辺のアイデアを出し合い必要な機能を考える (2/10, 11)

第3回の市民会議では、これまでの意見を基に導き出された8の字回遊動線と大手前に求められることを軸に大手前とその周辺のアイデアについて議論を行いました。



第4回 大手前地区のまちづくり基本コンセプト提案と必要なモノを考える (4/12)

市民会議に先立って、メンバー間の交流を深めることを目的として昼なべ談議を開催しました。会議では、柴田先生から大手前のまちづくりの基本的な5つの理念(基本コンセプト)について提案され、市民会議メンバーに承認されました。更に、具体的に大手前に必要なモノについて議論を行いました。



中間報告会 (5/15)

昨年10月から4回にわたり実施している市民会議において基本計画案の基本コンセプトを決定しました。そこで、基本コンセプトを含め、これまでの取り組みなどを市民の皆さまに広くお知らせするために中間報告会を開催しました。



みんなで決定した基本コンセプト

I. いつでも気楽に集まれる憩いの場所

普段の生活の中で、佐伯市民が日常的に「ふらっと」立ち寄り、お金を使わずとも長時間過ごせる場所にする

II. 多様な世代が集まれる場所

子どもから大人まで年齢に関係なく利用でき、利用する人達の様々な使い方に合わせられる場所にする

III. 佐伯ブランドの発信拠点

佐伯独自の食育や「ものづくり」などを学ぶことができ、多くの人々に佐伯の良さを知ってもらえる拠点にする

IV. 暮らしを支える場所

子育てや教育・文化活動を支援し、高齢者向けの福祉など佐伯市民の生活をより良くする場所にする

V. まちのストックを生かす場所

城山や船頭町、既存商店街など、周囲にある佐伯の資源やストックを生かし、それらを回遊させて繋げる拠点にする



## 1 第5回市民会議・高校生部会の概要

第5回の市民会議は「大手前開発計画の中身と施設規模を考える」をテーマに開催しました。

会議では、佐伯市から大手前開発計画に向けた前提条件の説明として、人口や財政に関する資料やこれまでの市民会議の結果を踏まえた大手前開発の考え方について説明がありました。

その後、5つのテーマに合わせた計画の中身の案から1つのテーマを選択し、その案を基本として、どの時間帯に、どのような人々が、どのような活動をする事ができるのかについて議論しました。

更に、大手前周辺の模型を使って、広場、バスターミナル、ホールの規模や配置の案について班ごとに検討を行い、その成果を発表していただきました。

高校生部会でも同様の内容で議論しました。



## 2 当日のスケジュール

【市民会議】  
 とき：6月23日 ところ：和泉  
 19:00 - 開会あいさつ  
 19:05 - 前回のふりかえり  
 19:15 - 市長あいさつ  
 19:20 - 佐伯市の現状と大手前開発における市の基本的な考え方  
 19:35 - 計画案の内容案と広場、ターミナル、ホールの規模について考える  
 21:30 - 発表会  
 21:50 - まとめ、閉会あいさつ

【高校生部会】  
 とき：7月6日 ところ：三余館  
 10:00 - 開会あいさつ  
 10:02 - 前回のふりかえり  
 10:15 - 佐伯市の現状と大手前開発における市の基本的な考え方  
 10:25 - 計画案の内容案と広場、ターミナル、ホールの規模について考える  
 休憩  
 11:45 - 発表会  
 12:00 - まとめ、閉会あいさつ

## 3 全体の流れ

【全体の流れ】  
 2013年度  
 10月 現状と事業に求めたいことを考える  
 12月 市全体の問題を整理し大手前に必要なことを導く  
 2月 大手前とその周辺のアイデアを出し合い必要な機能を考える  
 2014年度  
 4月 大手前地区のまちづくり基本コンセプト提案と必要なモノを考える  
 5月 中間報告会  
 6月 **大手前開発の中身と施設規模を考える** (第5回のテーマ)  
 8月 大手前の配置について考える  
 10月 基本計画案を実現させる道筋を考える  
 12月 基本計画案の確認  
 3月 市民シンポジウム (最終報告会)

## 4 市からの情報提供

### 1) 佐伯市の現状として人口と財政

国立社会保障・人口問題研究所によると、佐伯市の30年後の人口は5万人以下になると推計されていますので人口減少を食い止めるために様々な施策を打つ必要があります。財政面は市町村合併後、行財政改革などの取り組みにより基金(預金)は増え市債(借金)は減っていますが未だ市債が基金を上回っているほか、地方交付税交付金が段階的に縮減されるため厳しい財政状況が続きますので、財政の健全化に向けてさらに取り組む必要があります。



### 2) 大手前開発の考え方

#### ① 計画案を策定する上での基本的な要件

##### 事業用地について

- 市有地は旧寿屋跡地の駐車場側約5,000㎡と寿屋が建てていた側約2,000㎡です。
- 必要となる事業用地の確保に努めます。

##### 財政面について

- 行財政改革を推進し、財政の健全化に努めます。
- 社会資本整備総合交付金の活用や合併特別債等を財源として確保します。

##### 事業期間について

- 都市再生整備計画の5ヵ年で計画します。

#### ② 計画案の方向性

市民会議で出た主な3つの機能は大手前開発計画の基本的な柱になると考えています。

- **バスターミナル**  
交通結節点として維持・強化

- **広場**  
イベントや交流・憩いの場の創出

- **ホール・複合施設**  
多様な世代が交流できる空間の創出

※地域の発展も考慮し、地域と共存できるような基本計画になれば望ましいと考えています。

#### 3) 周辺施設の情報

- **文化会館の建設について**  
・市民会館(新文化会館)の建設を検討

- **歴史資料館について**  
・平成27年度オープン  
・1階は主に展示室、2階は主に収蔵庫

## 5 提案した5つのテーマと計画の中身の案

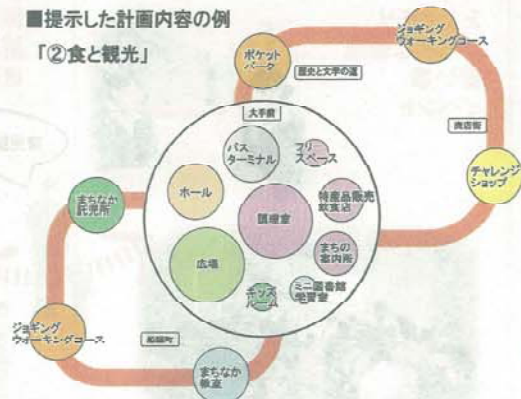
基本コンセプトや前回までの市民会議での議論を踏まえ、主軸とするテーマの違いに基づく5つの計画内容案を作成しました。

各計画内容案はテーマに合わせて、大手前に必要な機能と、大手前の周辺にあり連携できそうな機能を例示しました。

### 【5つの計画内容案】

- ① 美と健康
- ② 食と観光
- ③ 生活と福祉
- ④ 教育と学習
- ⑤ 趣味と文化

### ■ 提示した計画内容の例 「②食と観光」





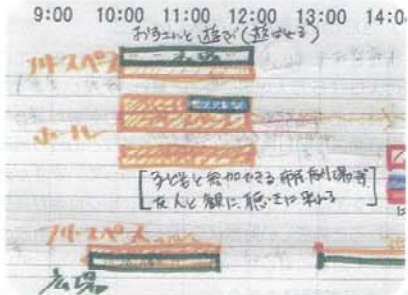
グループ作業の内容

①計画内容案の選択

基本コンセプトや前回までの市民会議での議論を踏まえ、主軸とするコンセプトの違いに基づく5つの計画内容案について説明し、各班で最も良いと思う案を選びました。

②活用方法の検討

選択した案を基に、どの時間帯にどのような活用ができるのかを検討しました。また、更に活用するために必要な計画内容を追加していきました。



③模型を使って検討

選択した案や出てきた活用方法を踏まえ、広場やホールなどの大きさや土地の使い方などの配置について検討しました。



グループ作業のまとめ

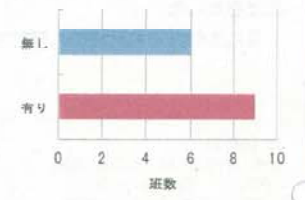
各班から出た活用方法に関する意見を以下のようにまとめました。それぞれの場所で行なわれる活動が連携することで大手前の賑わいを創出します。



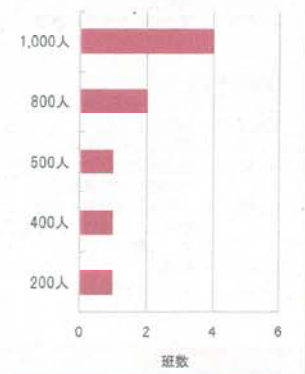
テーマの集計結果 (重複有り)



ホール有無の集計結果 (重複有り)



ホール規模の集計結果 (重複有り)





## 1 第6回市民会議・高校生部会の概要

第6回の市民会議は「大手前の配置について考える」をテーマに開催しました。

会議では、まず前回の市民会議の結果を受け、市民ホールに対する市の見解について説明がありました。次に大手前開発基本計画協議会からの提案でホールの規模、施設の配置が異なる4つの計画配置案の提案がありました。

その後、会場の中央に用意した大手前周辺を含む土地と今回提案した4つの計画配置案の模型を使い建物の高さなどを共有しつつ、4つの計画配置案から最も良いと思う案を1つ選択し、その案を選んだ理由や良い点、もっと良くするためのアイデアについて議論しました。

今回、高校生は大人と一緒に班に入ってもらい、高校生ならではの視点から議論を活性化してくれました。



## 2 当日のスケジュール

【市民会議・高校生部会】

とき：8月24日 ところ：三余館

10:00 - 開会あいさつ

10:03 - 前回のふりかえり

10:15 - 大手前開発の計画配置案について考える

- ・市民ホールの席数に対する市の見解の説明
- ・各計画配置案の説明

11:35 - グループ作業成果発表

12:00 - まとめ、閉会あいさつ

## 3 全体の流れ

【全体の流れ】

2013年度

- 10月 現状と事業に求めたいことを考える
- 12月 市全体の問題を整理し大手前に必要なことを導く
- 2月 大手前とその周辺のアイデアを出し合い必要な機能を考える

2014年度

- 4月 大手前地区のまちづくり基本コンセプト提案と必要なモノを考える
- 5月 中間報告会
- 6月 大手前開発の中身と施設規模を考える
- 8月 **大手前の配置について考える**
- 10月 基本計画案を実現させる道筋を考える
- 12月 基本計画案の確認
- 3月 市民シンポジウム（最終報告会）

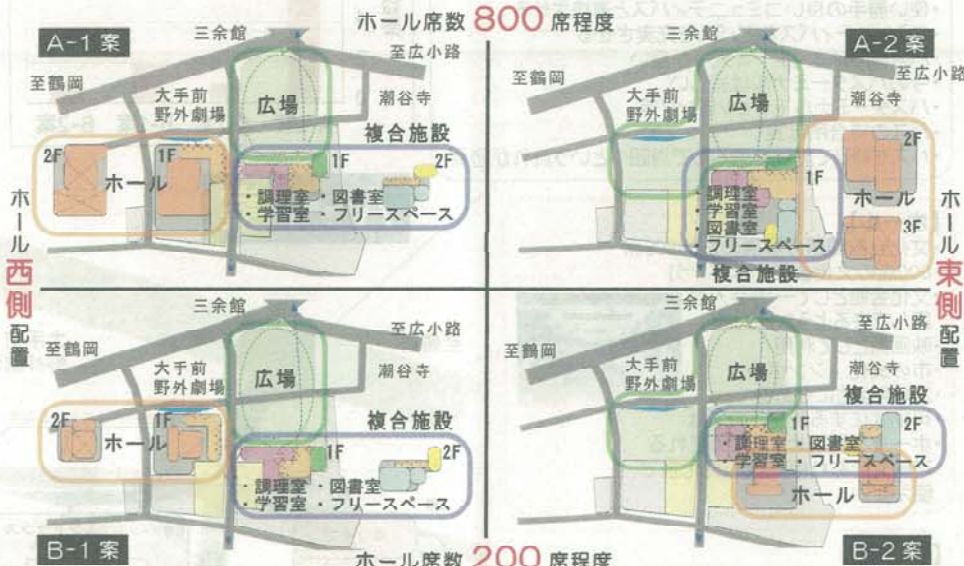
第6回のテーマ

## 4 施設配置計画案の検討

前回の市民会議の結果を踏まえ、大手前開発基本計画協議会から次のとおり提案がありました。

- (1) 広場と建築を東西のどちらに配置するかで利用形態が変化する。  
例：城山や仲町への動線、広場から城山へ連続する緑の景観
- (2) ホールについて  
①将来の人口減少や老朽化による建て替えが検討されている文化会館の機能を兼ねることができ800席程度  
②または、市内にある各ホールの稼働率などを考慮した200席程度

それをもとに、次の4つの配置案についてどれがよいか討議を行いました。



なお、協議会としては東側に広場、西側にホールを配置することが望ましいという意見を提案しています。

## 5 ものづくりワークショップの様子

9月21日(日)に、高校生部会のメンバーが、ものづくりからまちづくりを考えるため、地元杉材を使った屋台を製作しました。屋台は移動式で、ベンチにもなり、また収納箱を使って陳列もできます。まちの活性化を目的としたイベントや地域の祭り、学校行事などに貸出しますので、ご希望の方はお問い合わせください。

【協力いただいた皆様】

- さいき杉提供：佐伯広域森林組合
- 木材加工協力：庄司建設工業株式会社
- 発電機協力：武田電気

・申し込み先・  
佐伯市役所まちづくり推進課  
TEL 0972-22-4623 (直通)





選定された案と出された意見 全班が共通して選択したA-1の案を基本として、出された意見を以下のようにまとめました。

**【バス】**

- ・バス停に屋根がない
- ・バス停との動線が良い
- ・バス停とエントランスがつながる
- ・エントランスホールがあるのは休めるので良い
- ・使い勝手の良いコミュニティバスと連携させる
- ・コミュニティバスなどバスを充実させる
- ・バス停ではなくターミナルが良い
- ・今のバスターミナルは寂しい
- ・バスターミナル+ショッピング等
- ・バスの待合所は良い
- ・バスを降りて施設を楽しんで周囲へという流れが必要



**【大屋根】**

- ・大屋根をもっと大きくする
- ・益通りの観客席として使える

**【広場】**

- ・広場が広すぎて使わないのでは
- ・周囲に木などを植える
- ・大分バス跡に噴水が欲しい
- ・広場が広いのは使いやすい
- ・座れるフリーの場所がもっといと思う
- ・広場に何も無いことも魅力
- ・規制のない広場利用
- ・トラックが入っても大丈夫な広場
- ・植栽で緑をつくる
- ・芝生は市民会議メンバーで管理する
- ・ボールやフリスビーを使えるエリアをつくらなければトラブルが起きる



**【ホール】**

- ・文化会館問題の解決のため800席
- ・800席の文化会館では不十分
- ・文化会館として一流芸人が喜んで来ような施設を
- ・映画館として利用
- ・市の文化 シンボル
- ・200席は他にもある
- ・可動式にすると良いのでは
- ・ホールを利用せずとも集まれる
- ・可動式であれば高校の文化祭で使える



**【商店街】**

- ・特産品、カフェは大手前商店街につくる
- ・景観に配慮した商店街にする
- ・商店街にアーケードをかける
- ・歩行者天国にする
- ・地産地消エリアが欲しい
- ・アンテナショップ



**【駐車場】**

- ・駐車場が広い
- ・駐車場は広い方が使いやすい
- ・駐車場が少ない
- ・大手前野外劇場も駐車場に
- ・屋根付きの駐輪場が必要

**【カフェ・販売】**

- ・物産品販売スペースを拡げる
- ・公共の建物の中にカフェ等は入れない方が良い



**【調理室】**

- ・既存の調理室は使われているか
- ・プロは調理室を使わない
- ・子どもとプロの連携
- ・食育の拠点
- ・イベントに対応できる調理場に
- ・三余館の調理室とダブらないように



**【キッズスペース】**

- ・子どもの一時預かり機能
- ・子育てスペースの前広場に遊具
- ・小規模で良いので保育所が欲しい

**【図書・学習室】**

- ・図書室を1階に配置する
- ・図書館運営を昼間に
- ・例えばTSUTAYAに運営に入ってもら
- ・学習室を広く、1階に配置して欲しい



**【建物規模】**

- ・景観に配慮して出来る限り低くする
- ・建物は圧迫感がないようにする
- ・高いことは良いことではない
- ・大きい建物だと他所のまちと同じになる
- ・大きな建物は防災拠点になる
- ・建物は専門家に任せる
- ・東側の建物が低いので城山の景観が活かせる
- ・建物を分けることでランニングコストが低減される

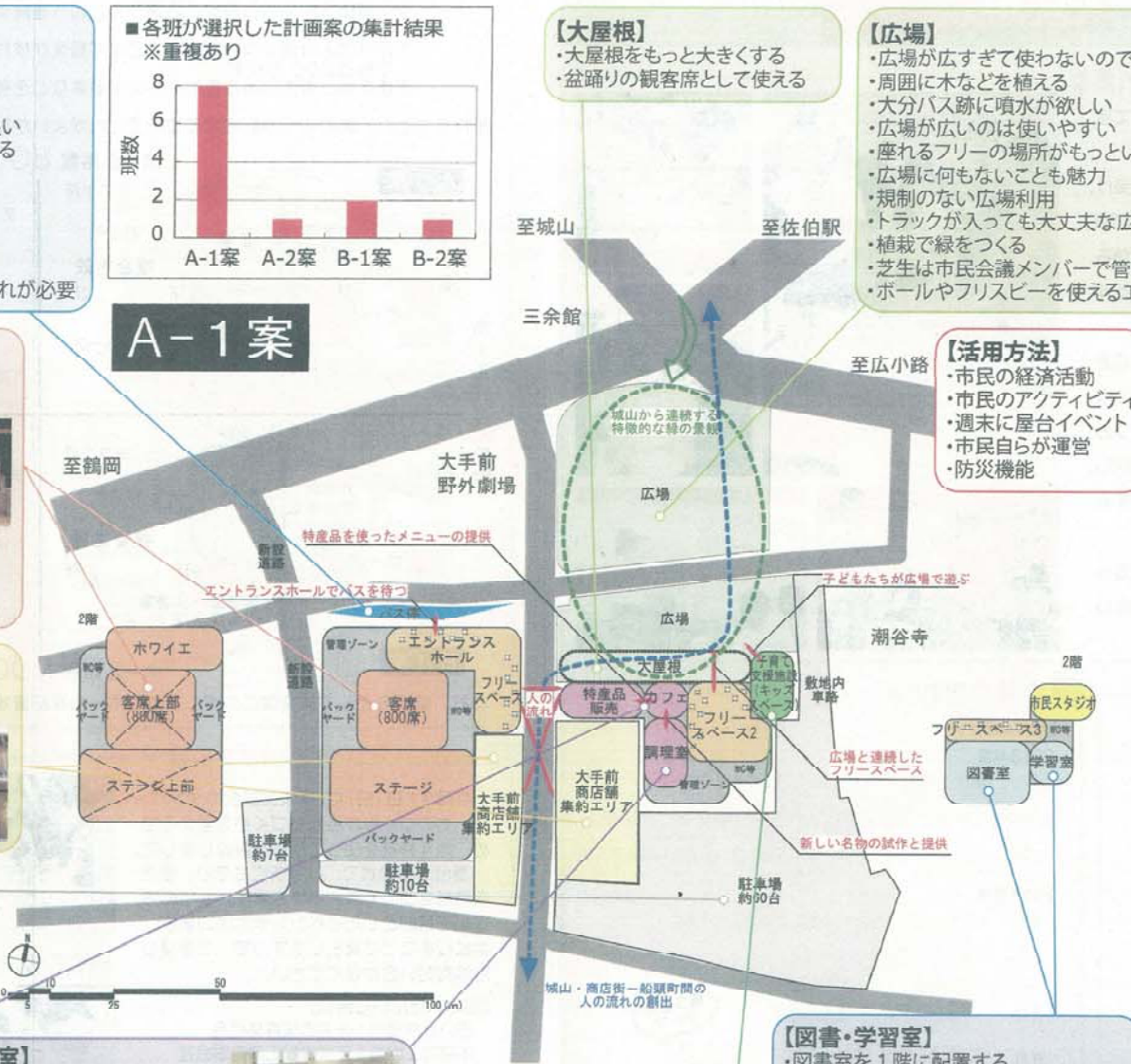
**【周辺との連携】**

- ・商店街との情報連携
- ・まちとの連携
- ・仲町商店街まで全てのを考えるべき
- ・人の流れを重視して配置する
- ・歩いて回りたくなるようにする
- ・観光のコースに設定
- ・サイクリング

**【複合施設】**

- ・エレベーターを備え付けて欲しい
- ・トイレは身障者用も設ける
- ・バリアフリー
- ・授乳室や子どものおむつ交換スペースがある方が良い
- ・トイレの位置を分かりやすくする
- ・トレーニングジムが欲しい
- ・コンビニやファストフードがあれば高校生は寄りやすい
- ・階段は少なく、段差も低い方が良い
- ・時間をつぶせる場所(軽食)
- ・佐伯のモノが全てそろう場所に
- ・中途半端な販売はダメ

**A-1案**



※ 今回紙面に掲載している案は、検討途中のものであり、今後、諸室の位置や規模や内容については随時変更していきます。



## 1 第7回市民会議・高校生部会の概要

第7回の市民会議は「大手前開発基本計画案を具体化させるアイデアを考える」をテーマに開催しました。

今回の会議から複合施設1階、複合施設2階、子育て支援、ホール、広場の個別のテーマを設定し、事前に実施した意向を踏まえ、班に分かれてもらい、議論を行いました。それぞれのテーマごとに①どのように使いたい、②具体的に何が良かったか、③その場所を長く使うために必要なルール等について今まで以上に具体性のある議論が行なわれました。

今回も、高校生は大人と一緒に班に入ってもらいました。



## 2 当日のスケジュール

【市民会議・高校生部会】

とき：10月23日 ところ：和楽

19:00 - 開会あいさつ

19:05 前回のふりかえり

10:15 - 大手前開発計画配置案の各場所の使い方について考える

20:30 - グループ作業成果発表

21:00 - まとめ、開会あいさつ

## 3 全体の流れ

【全体の流れ】

2013年度

10月 現状と事業に求めたいことを考える

12月 市全体の問題を整理し大手前に必要なことを導く

2月 大手前とその周辺のアイデアを出し合い必要な機能を考える

2014年度

4月 大手前地区のまちづくり基本コンセプト提案と必要なモノを考える

5月 中間報告会

6月 大手前開発の中身と施設規模を考える

8月 大手前の配置について考える

10月 **基本計画案を具体化させるアイデアを考える**

12月 基本計画案の確認

3月 市民シンポジウム（最終報告会）

第7回の  
テーマ

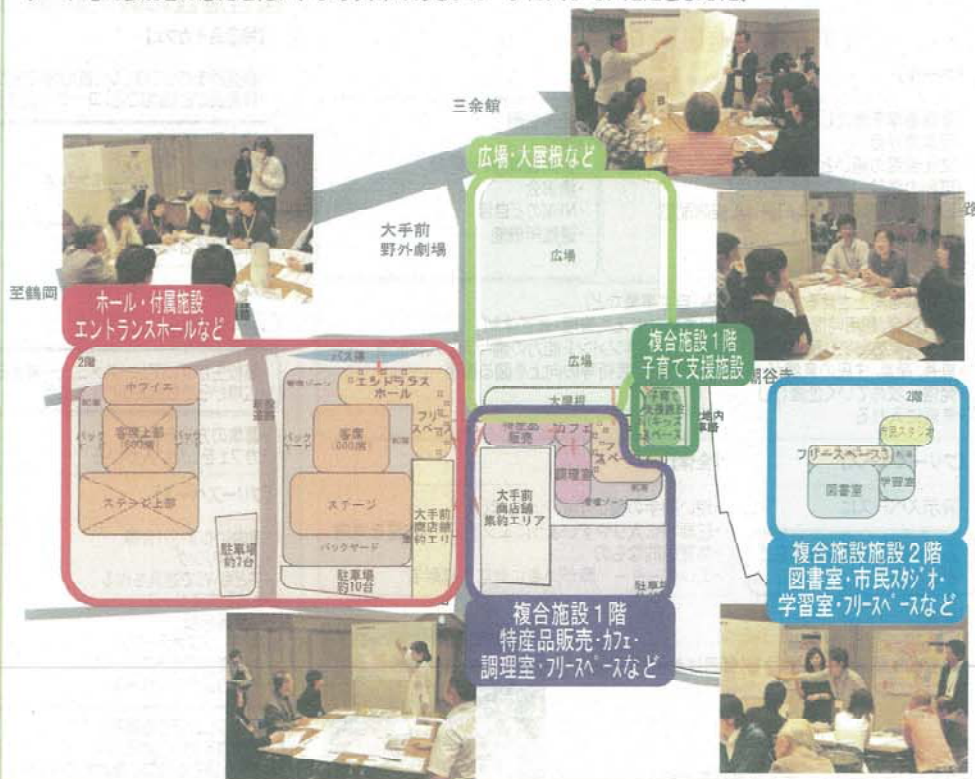
## 4 ものづくりワークショップの報告

ものづくりワークショップの意義やどのような流れで完成まで至ったのかを高校生に発表してもらいました。佐伯市の未来を担う貴重な財産としての成長を感じさせてくれる見事なプレゼンテーションを披露してくれました。



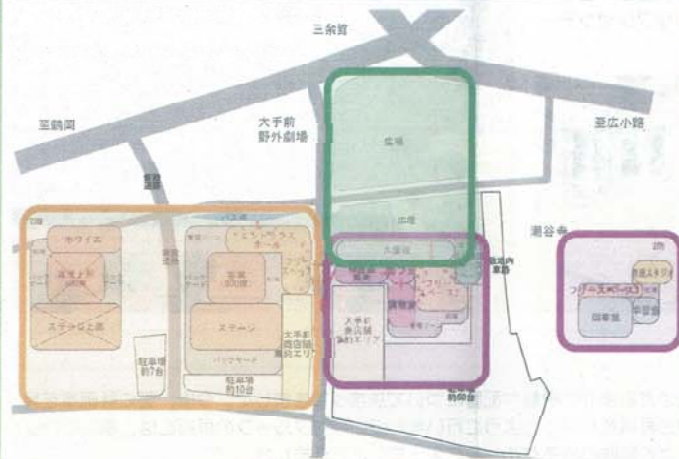
## 5 検討テーマの設定とグループの変更

これまでの市民会議で、大手前のおおまかな機能や配置について決まってきました。今後、更に計画案を具体化させるために、検討グループの再編成を以下のように行いました。検討グループの再編には、事前にアンケート等で参加者の意向を伺い、より興味のあるグループに入っていました。





凡例 具体のモノ 使い方 仕組みやルール



### ホールに関する検討結果

#### 【ホール】

- 音響基準を満たした音響設備
- 固定席が良い
- 文化会館の悪いところを良くする
- 可動の議論 専門性と使い方
- 2階席からの見え方に配慮した座席配置
- カウンターはいらない
- 親子室

- 映画企画
- 落語
- 音楽鑑賞・舞台鑑賞
- 講演会
- NHKのご自慢
- 避難所機能

- 稼働率を向上させるための仕組み(自主事業など)
- 利用料金、利用時間について、住民主体に考えた管理・運営体制
- 自主事業を継続し積極的に行えるアートマネジメント能力の備わった人材配置
- 首長、職員、住民の意識が一つになって文化芸術等の向上を図る機運
- 発信 攻めていく企画(人)
- 気軽に入れる

#### 【フリースペース】

- 展示スペースに
- おしゃれな椅子で読書など
- ギャラリー

#### 【全体】

- 使い勝手の良い小ホールもほしい
- 駐車場に入りやすいようにエントランス位置を考慮
- 体育館的なもの
- エレベーター 障がい者に対応 高齢者

#### 【楽屋】

- 楽屋は3部屋以上必要(うち1部屋は着付け用で)

#### 【バス停】

- 交通の仕組み
- コミュニティーバス 大人が来れる仕組み



### 広場に関する検討結果

#### 【広場】

- 全面フラット(山はつくらない)
- 植樹(四季のもの・桜)
- 外灯(安全・防犯)
- 芝生(車椅子でも通れる通路も)
- 全面土(乾ぎやすいもの)
- 周りにジョギングコース・歩行者用
- フィールドをきれいな四角に
- 周囲はフェンス
- ナイター設備
- 植樹はNO!!(ランニングコストを抑える)
- 広場内に"何も無い"のがいい
- 遊具
- 中央に運動をする広いスペース
- ゴムチップや人工芝がいい
- ペトスペース
- 水飲場
- アスレチック
- トイレ
- 屋台が利用できる設備
- ベンチ・机一体型

- フリスビー・ボール遊びをするスペース
- 夜にふらっと散策したくなる雰囲気をも!
- 日頃から多世代の人が集まる広場
- ゲートボール場・グラウンドゴルフ(日中)
- フットサル(夜)
- バスケ・野球・サッカーなどをして遊びたい
- 二次的な避難場所として活用
- 憩いのスペース
- 年齢別に遊べるようスペースを分ける
- 文化祭(高校)
- 広場とイベントが連携しやすいようにする

- ゴミ箱は置かない!!(ゴミは持ち帰る)
- ルール化は必要(芝や水の管理)
- ルールを破った場合は、ペナルティーを
- 使用料をもらって屋台などを集める
- 維持管理も自分たちでやる
- 飲食をできるスペースを決める
- 使い方(ルール)ゆるやかに
- 軽食を販売してほしい

#### 【大屋根】

- ステージをつくる
- 台風のことを考えれば開閉式
- 大屋根を道路まで広げる
- アクリル屋根等で採光をとる
- 柱に接してベンチ・イス
- 防災の仕掛けのあるベンチ
- カフェテラス
- 屋根に太陽光パネル
- 大屋根は不要(コスト面)

- 雨の日は静かに過ごすことも大切

#### 【道路(施設間)】

- 2階でホールとつなげる
- 邪魔にならない街灯(無電柱化)

- 安全性をきちんと担保
- フリースペースや道路をイベント時の露店などに使用

#### 【道路(広場間)】

- 分断されている良さがある

- イベント時は歩行者天国に

#### 【集約エリア】

- 民間に任せる



### 複合施設に関する検討結果

#### 【特産品+カフェ】

- 直売所を作ってほしい(各地域のもの!)
- 特産品ごと(産地ごと)コーナー別置台

- 道の駅+高校生
- 販売体験の場所
- 作ったものを売ることができる
- 観光客が情報収集

- 特産品は各地域が受け持つ!

#### 【カフェ】

##### ・オープンカフェ

- 高校生がプロデュースメニュー考える
- 広場からでも出入りできるよう

- 募集の方法を考える
- カフェをしたい人がいる

##### 【フリースペース】

- 室内にもオベリ台等
- ボルタリング
- 子どもWSで遊具を作る
- もっと広スペース
- 情報掲示板
- 椅子 ソファテーブル
- 人形劇ができるスペース
- 中庭のようなスペース

- 暇つぶしができる場所
- 食べ物を持ち込める場所
- ずっと居ても文句を言われない場所

- 飲食禁止

#### 【調理室】

- 棚、冷蔵庫・冷凍庫、調理台(可動式)
- レンジ台、壁(板壁)防火板
- 水面台(流し台)、収納庫

- 関わった高校生が運営で地元に戻る
- 料理教室(ヘルパー)
- 作ったものを食べれる
- 若い人の働く場
- レシピ本・料理本教室
- 調理したものをカフェで提供

#### 【図書室】

- 子どもが居ることのできるスペース
- 歩いても静かな床
- 壁をなくしてフリーの図書スペース
- 図書室が1階にほしい
- 1階は雑誌
- 2階には小説など学習
- 本を自由に読めるように
- 今の図書館のプラスアルファがほしい

- 電子書籍のみの図書館
- 本の案内人 コンシェルジュ
- 本の持ち込みを制限しない

#### 【学習室】

- PCを使用した学習を!!
- 壁側に仕切り ライトもつける

#### 【トイレ】

- 子ども用のトイレをキッズルーム近くに
- 男子トイレにもオムツ替えスペース
- トイレトレーニングができる補助トイレ
- バリアフリー

#### 【キッズスペース】

- キッズスペースの近くに遊具を(イベント時は動かせる)
- 本棚
- 収納スペースに遊具

- 広場と連動
- 子育て相談場 保健士
- 利用者が子どもを預ける

- NPO等に委託して一時預りを
- 一時預りは低料金で!
- 小さい子どもから預かってほしい

#### 【市民スタジオ】

- 練習風景が見えるように
- 間仕切りするなら音がもれないように
- 音楽をするための場所
- レッスンの場
- 区切って小さな複数スタジオ
- 余りのスペースも必要
- 専門性のある設備(鏡、防音など)

- Yoga ピラティス 女性向けの
- 将来的に使えるようにした方がよい

- 2階の営業時間は長く!!

#### 【複合施設棟】

- 入り口をウッドデッキに
- 屋上にベンチ テラスに
- 施設内連携
- 小ホール(250~300)

- 星を見る人は屋上で!

#### 【全体】

- ここにしかない遊具を
- ここにいれば安全安心な施設に
- 警官の立寄所(治安)
- 城山が見える工夫
- 木造(木を使う)

- 高校アピールの場所

- レストコーナーを設けて飲食OK
- 飲食はフリースペースのみ
- 使う人が自分たちで使うルールをつくる
- 考えた人がやる!
- リーダーを中心に回す
- 有志の市民が施設管理
- 高校生がやる(フリースペース+特産品)
- NPO法人(施設の管理)
- 佐伯内の各地域の人々(特産品)
- 経営者を決める!





## 1 第8回市民会議・高校生部会の概要

第8回の市民会議は「大手前開発基本計画案について確認する」をテーマに開催しました。

1年以上の歳月をかけて議論してきた市民会議の成果としてつくられた「大手前開発基本計画提案書」をコーディネーターの柴田教授から説明がありました。その後、全体配置計画案及び個別計画案の内容について確認をするグループ作業を行ないました。

市民会議の最後には、大手前開発基本計画協議会の富高会長からあいさつがあり、全8回に渡る市民会議への参加に対する謝辞と市民会議・高校生部会と協議会の連名で提案書を市長へ提出することが話されました。



## 2 当日のスケジュール

【市民会議・高校生部会】

とき：12月3日 ところ：和楽

19:00 - 開会あいさつ

19:05 - 前回市民会議のふりかえり

19:15 - 大手前開発計画案について確認する

20:35 - グループ作業成果発表

21:00 - まとめ、閉会あいさつ

## 3 全体の流れ

【全体の流れ】

2013年度

- 10月 現状と事業に求めたいことを考える
- 12月 市全体の問題を整理し、大手前に必要なことを導く
- 2月 大手前とその周辺のアイデアを出し合い必要な機能を考える

2014年度

- 4月 大手前地区のまちづくり基本コンセプト提案と必要なモノを考える
- 5月 中間報告会
- 6月 大手前開発の中身と施設規模を考える
- 8月 大手前の配置について考える
- 10月 基本計画案を具体化させるアイデアを考える
- 12月 **大手前開発基本計画案について確認する** (第8回のテーマ)
- 3月 市民シンポジウム (最終報告会)

## 4 参加者インタビュー



一年間を通して、街をつくるというのに参加できて、それが自分の案を出して形になっていくのがとても嬉しかったです。



自分たちが出した意見が、今後の佐伯市の未来に生かされればいいなと思います。



箱物は要らないという観点で参加しましたが、様々な人たちの意見を聞くことで、自分の考えの誤った点・正しい点が見えてきました。



今の子どもたちが、大きくなって住み続けていきたいなと思うような街になればいいなと思います。



今の佐伯市の人口だけで、佐伯市内全部を賅うというのは非常に無理があると思うので、大手前とか何地区とかではなく、佐伯市全体での話し合いがあった方がいいと思います。



この市民会議の提案は100%通るとは思っていませんが、できるだけ近づけていってほしいと思います。私の孫やひ孫も佐伯はいい街だと思う街になって欲しいと思います。



今後の佐伯市は、超高齢化が進むと思いますので、お年寄りの暮らしやすい街に、子育てのしやすい街になればいいんじゃないかと思っています。

## 5 基本計画提案書の完成

76名の市民と16名の高校生で結成した「市民会議・高校生部会」、様々な分野の有識者9名で結成した「大手前開発基本計画協議会」で、これからの大手前地区について議論を重ねた結果、大手前開発基本計画の提案書が完成しました。提案書の内容は、ホームページからご覧いただけます。



【基本計画提案書の目次】

はじめに

### 1. 検討体制とスケジュール

- 1-1. 提案書の目的
- 1-2. 検討の体制
- 1-3. 計画策定までのスケジュール

### 2. 検討の流れ

- 2-1. 市民会議・高校生部会、協議会の各回概要
- 2-2. 現状把握と課題の整理 (第1, 2回)
- 2-3. 必要機能・基本コンセプトの検討 (第3, 4回)
- 2-4. 施設規模・配置の検討 (第5, 6回)
- 2-5. 使い方・ルールルの検討 (第7, 8回)

### 3. 提案の内容

- 3-1. 大手前開発の考え方
- 3-2. 基本コンセプト
- 3-3. 全体計画案
- 3-4. 個別計画案

### 4. 協議会からの提言

- 5. 参考資料
- 5-1. 各種会議の記録

## 6 佐伯市へ提案書の提出

12月10日に大手前開発基本計画協議会(富高国子会長)は市役所を訪問し、大手前開発基本計画市民会議・高校生部会と連名でまとめた「大手前開発基本計画提案書」を西嶋市長に提出しました。提出にあたり富高会長は「提案書は市民の熱意あふれる真剣な活動の成果です。一つでも多く市民の想いを形にしてください」と話し、西嶋市長は「市民の皆さんの活動に感謝します。いただいた提案書をもとに市として実現可能な基本計画を作成します。」と話しました。

今後、提案書を基にし、平成27年3月までの最終的な基本計画書を作成します。

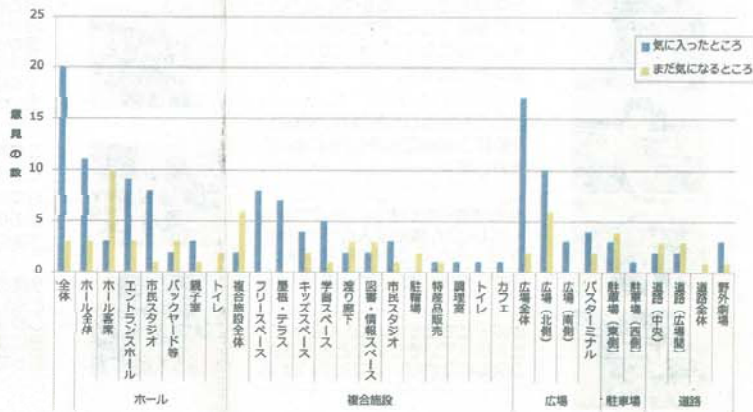




### ■意見の集計

意見の全体を通して見ると、「気に入ったところ」が多く挙げられていました。特に、広場やホール棟のエントランスホール兼バスの待合機能については、好意的な意見が多く挙げられています。

また、「まだ気になるところ」として多く挙げられていたのは、ホールの客席の固定・可動について、また複合施設に盛り込むべき追加の機能についてなどの意見が出されました。



### ■気に入ったところの主な意見

#### 【全体について】

- ・景観は大切!
- ・全ての世代のことが考えられている
- ・形ではないシンボル

#### 【バスターミナルについて】

- ・ホールとターミナルがくっついているのが良い

#### 【広場について】

- ・他世代交流ができる広場へ
- ・みんなで管理! 大切!
- ・広場があることで世代のつながり
- ・城山見える
- ・「にぎわい」が見えるのが良い
- ・中心地に緑の広場が良い
- ・広場・建物一休している
- ・子育てにやさしい出入り自由なスペース(子ども広場)

#### 【複合施設について】

- ・バス待ちの高校生が使いやすい学習スペース
- ・特産品を使った料理を出す→特産品を買ってもらう
- ・子どもトイレが確保されている
- ・市民スタジアムが周りから見えるのはとても良い
- ・調理室が1階部分にあるのが良い!
- ・大きい図書スペース
- ・フリースペースはすごく良い
- ・個人・団体が自由な利用の場になる(フリースペース)
- ・フリースペース 人の集まり中心になる
- ・テラスはオープンなすきなスペース
- ・大屋根良いね!
- ・ホールとつながることに賛成!

#### 【ホールについて】

- ・エントランスホールでバス待ち・イベントの連携
- ・バスの乗降に雨に濡れなくて良い
- ・エントランスホールはホールが隣接されていても明るい空間というのが良い
- ・展示スペース 一体感が良い
- ・親子室は良い
- ・市民スタジアムは今まで無くてあればあるで必ず使う人がいる!!
- ・バックヤードにシャワー室はあった方が良い!
- ・ホールの客室を2つのフロアに分けるのが良い!
- ・子どもたちに「文化」の心を育むためにホールが必要!

#### 【駐車場について】

- ・駐車場の配置が良い

### ■まだ気になるところの主な意見

#### 【全体について】

- ・周辺環境の調整

#### 【広場について】

- ・駐輪場が遠いのでは?
- ・野外劇場と広場のつながり
- ・トイレと水場がほしい

#### 【複合施設について】

- ・フリースペースと学習スペースが被らないか?
- ・授乳室等の設置を検討してほしい
- ・他施設の使用頻度と内容も調査した方が良い
- ・特産品販売などは既存商店街との兼ね合い
- ・専門書もそろえてほしい(他の図書館にないものを)
- ・既存の図書館との連携が気になる
- ・墓地が見えないように配慮する
- ・バスターミナルへのアプローチを考えてほしい
- ・交流のため高齢者スペースもあって良いのでは?
- ・まちづくりセンターの機能を
- ・学習室の横が渡り廊下で良い?

#### 【ホールについて】

- ・エントランスホールの階段を壁に沿わせて広くした方が1階ホールもよく使えるし安全!!
- ・バスに乗りやすい段差を設ける
- ・小さい子どもがいるのに施設狭すぎない?
- ・いくつものスタジアム必要か?
- ・子ども用のトイレは必ず設置してほしい
- ・練習用の部屋(広め)が必要
- ・搬入口の整理
- ・座席は可動式でない方が良いのでは(席を増やす)
- ・中ホール・小ホール併設を検討
- ・舞台と音響を検討する
- ・壁を可動式にすれば演奏会にも使える
- ・音のことを考えると固定席が良い
- ・暗がり着席は必要

#### 【駐車場について】

- ・駐車場の出入りに気になる
- ・70台くらいは少ない
- ・駐車場の位置・形状が悪い

#### 【道路について】

- ・道路幅の狭さが気になる 安全面
- ・一方通行大丈夫?(狭い)
- ・広場の分断はしない方が良い

### ■意見の分布

#### 複合施設・広場計画案

- 気に入ったところ
- まだ気になるところ

**複合施設・広場の考え方**  
自分の魅力・佐伯の魅力  
発見・発信できる場所へ

**広場への出入りについて**  
敷地での建物の出入りしやすいような計画とする。また、外部から見出しのよい広場とすることで賑わいにもつながりやすく、安全面として活用できる。

**広場広場について**  
敷地北側の広場を敷地の中心「まちづくり広場」として整備する。  
敷地南側の地下にテラスを設けることで、第1のフリースペースやオープンプラザと異なり、季節感やイベント時には北側の広場と一体となり、オープンプラザをステージとして活用することもできる。市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

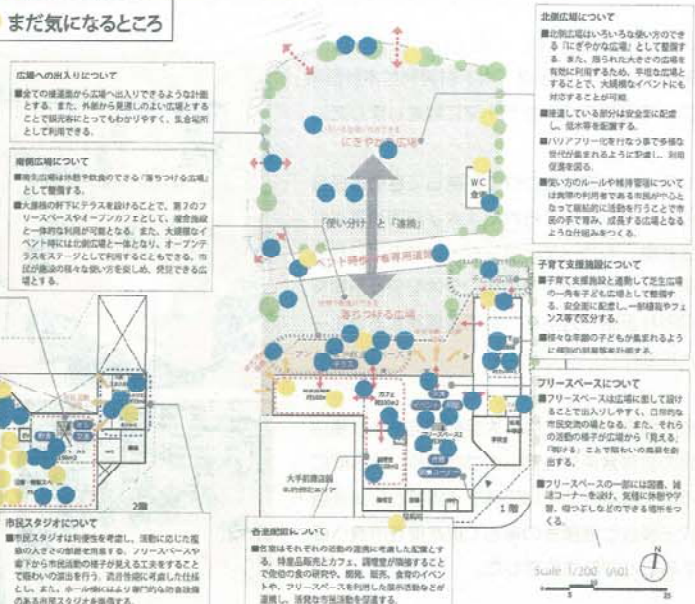
**複合施設について**  
複合施設として利用する。大きなホール棟や学習スペースを併設する。また、市民スタジアムや市民ホールを併設し、市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**ホール棟と結核について**  
ホール棟と結核を併設し、市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

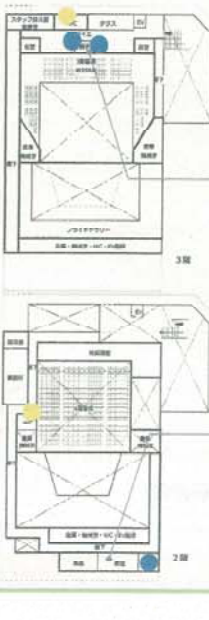
**市民スタジアムについて**  
市民スタジアムは市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**バスターミナルについて**  
バスターミナルは市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**道路について**  
道路幅の狭さを解消し、安全面を確保する。



#### ホール棟・バスターミナル計画案



**ホール棟の考え方**  
日常的に人々が集う  
賑やかなホールへ

**各階計画について**  
各階の計画は、子どもも利用しやすいように計画する。

**ホール棟上階の工法について**  
ホール棟上階の工法は、ホール部分のみを鉄骨造とし、その他の部分をRC造とする。

**バックヤードについて**  
バックヤードにシャワー室を計画することで、練習の場を確保する。

**エントランスホール兼フリースペースについて**  
エントランスホール兼フリースペースは、市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**フリースペースについて**  
フリースペースは、市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**バスターミナルについて**  
バスターミナルは市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**駐車場について**  
駐車場の計画は、市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**エントランスホール兼フリースペースについて**  
エントランスホール兼フリースペースは、市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**フリースペースについて**  
フリースペースは、市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**バスターミナルについて**  
バスターミナルは市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。

**駐車場について**  
駐車場の計画は、市民が活動の場を創出し、発見できる広場とする。